

## 私の留学体験記

広島県立福山葦陽高等学校 2年 澤田 美優（さわだ みゆう）

留学期間 平成30年2月3日 ～ 平成30年2月17日（2週間）

留学先 ワイパフ高校（ハワイ，アメリカ）



私は短期語学留学でハワイに2週間ホームステイをしてきました。

ハワイに行く前は英語が得意ではないのにどうしようという不安もありましたけど、不安より楽しみのほうが大きかったです。

でも、ハワイに行ってみると自分が思っていた以上に英語が全く聞き取れず、自分の伝えたいことも伝えることができませんでした。文化の違い

もたくさん感じました。戸惑うこともあり、日本語が通じないし、英語も通じない家に2週間もホームステイするのが大丈夫かなと思ひ、すごく不安になりました。しかし、ハワイの人はみんなフレンドリーで、間違えてもいいから積極的に英語を話し、自分のわかる単語やジェスチャーで伝えると、ハワイの人たちは理解してくれ、だんだんコミュニケーションがとれるようになり、たくさんの人と仲良くなれました。

ホストファミリーには海, Dole plantation, Water park など多くの場所へ連れって行ってもらい、たくさんのおいしいものを食べさせてもらいました。食べ物はすべて大きく、毎回出てくるたびにびっくりしました。私がハワイで一番おいしいと思った食べ物はハンバーガーとピザです。とても大きく、一切れでお腹一杯になりました。

私はハワイに行って日本の文化を紹介するとき、折り紙を伝えようと準備して行きました。折り紙がとても上手なおじいちゃんにバラをたくさん折ってもらいました。ワイパフ高校の国際交流のイベントに参加したとき日本のコーナーに、私のおじいちゃんのバラを置きました。たくさんの人たちがそのバラに興味を持ち、私に会話をしてくれました。「これは何？すごいね！きれいだね！どうやって作るの？」と聞かれ、私は「これは折り紙で折ったバラです。とても難しく私は折れません。私のおじいちゃんが折りました。」と伝え、代わりに鶴の折り方を教えました。みんな鶴を折るのに苦戦していて、日本人の器用さをすごく感じました。

また、体育の授業でバスケットをしました。言葉は通じなくてもスポーツをするとすぐ仲良



くなって、本当に楽しかったです。スポーツはコミュニケーションの一つだと実感しました。フラダンスの授業を受ける事も出来、楽しかったです。

私は初めて親元を2週間という長い間離れ、言葉も通じない、誰も知らない文化も知らない場所で生活し、今まで自分はとてもいい環境で育ててもらい、親の大切さがわかりました。

私をもっと英語を勉強していたら、いろんな人ともっとコミュニケーションをとることができ、相手を困らせることもなかったのだろうと思いました。この機に、もっと英語を勉強し、日常会話が話せるくらいになりたいと思いました。また機会があれば、留学したいと思いました。

